

新型コロナウイルス感染症の軽症、中等症患者への治療薬に係る要望

現在、新型コロナウイルス感染症の発生が全国的に急拡大しています。

本県では、直近7日間合計の10万人当たりの新規感染者数が7月29日現在で、47.63人となり、国の指標で最も深刻な段階であるステージⅣとなる25人以上の基準を大きく超過している状況です。

高齢者へのワクチン接種が進む中、高齢者の重症者は一定程度抑えられている状況となっておりますが、その一方で、若者や中高年を中心とした軽症、中等症患者が急増しており、特に40代、50代の方を重症化させないことが喫緊の課題となっております。

こうした中、国は、7月19日に新型コロナウイルス感染症の軽症や中等症の患者を対象とする国内初の治療薬、中和抗体薬「カシリビマブ及びイムデビマブ」を特例承認したところです。

本治療薬については、現時点で安定的な供給が困難となっていることから、国は、一般流通を行わずに糖尿病や心血管疾患などの重症化リスク因子を有する入院患者のみを対象としており、また、配付に当たっては、治療を行う医療機関からの要望に応じて、国と販売契約を結ぶ中外製薬が行う仕組みとしています。

本県では、リスク因子のある方も含め軽症患者等をホテル療養又は自宅療養で対応することとしており、本治療薬は、これらの者への適用が期待されているところです。

つきましては、中和抗体薬「カシリビマブ及びイムデビマブ」の取扱いについて、下記のとおり要望します。

記

- 1 現在、投与対象者を軽症や中等症の重症化リスクを有する入院患者としているが、外来患者への使用を優先すること。

2 中和抗体薬「カシリビマブ及びイムデビマブ」の安定供給に努めるとともに、今後の供給見込みを適宜示し、医療機関での治療が円滑に行えるようにすること。

なお、配分に当たっては、本県のように感染者の発生が多い地域の医療機関に対し、重点的に行うこと。

令和3年7月30日

厚生労働大臣 田村 憲久 様

千葉県知事 熊谷 俊人